

2022 年度

# エコアクション21 環境経営活動レポート



活動期間

2022 年（令和 4 年）4 月 1 日 ～ 2023 年（令和 5 年）3 月 31 日

エコアクション 21 登録・認証番号 0000088

認証・登録日 2004 年 12 月 22 日

更新・登録日 2022 年 12 月 22 日

発行日 2023 年 9 月 1 日

## 目次

1. ご挨拶	2
2. 環境経営方針	3
3. 組織概要	4
4. 実施体制	5
5. 環境目標と実績	6
5.1 環境負荷の実績推移	7
5.2 3年環境経営目標	10
6. 環境負荷の詳細	11
6.1 本年度環境活動計画と評価	11
6.2 次年環境活動計画	12
7. 環境活動記録	13
7.1 清掃活動	13
7.2 廃油流出事故訓練	13
7.3 設計開発部 メカ設計課活動記録	14
7.4 設計開発部 電気・ソフト課活動記録	16
7.5 設備技術部 組立課活動記録	16
7.6 製造部 製造課活動記録	19
7.7 製造部 生産管理課活動記録	21
7.8 営業部 営業課活動記録	23
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果	24
9. 代表者による全体評価と来年への展望	26
9.1 取り組みへの評価	26
9.2 2023年度への展望	26

## 1. ご挨拶

株式会社アラオは、半導体製造装置を設計・製造する、エネルギー少消費型会社です。

地球環境の保全のために、2004年にエコアクション21を取得し、地球環境への負荷を少なくする事を心がけてまいりました。2015年には「EA21 認証・登録制度 10周年記念式典」にて長年のエコアクション活動に対して感謝状をいただきました。さらなる環境への取り組みを目指して、2022年度の環境活動レポートを発表いたします。



## 社是

顧客が満足する

T 技術、Q 品質、C コスト、D 納期 を提供する

## 企業理念

お客様を大切にし、お客様から期待される会社でありたい。

従業員を大切にし、従業員の夢をかなえる会社でありたい。

人を大切にし、品位ある会社でありたい。

衆知を結集し、「変化の時代」に対応できる会社でありたい。

株式会社アラオ

代表取締役社長 荒尾 淳

## 2. 環境経営方針

# 環境経営方針

### 株式会社アラオ 環境経営宣言

・私たちは省力機器の設計製作および金属機械加工事業を通じ、顧客が満足する技術 (Technology)、品質(Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery Date)を提供することを目指します。

### 株式会社アラオ 環境経営行動方針

- (1) 私たちは顧客要求の変化への対応として、省エネ製品、IoT、ロボットなどを使用した独自製品の開発を推し進めます。
- (2) 私たちは予算を認識し、効率的な業務遂行で適正利潤を継続確保します。
- (3) 私たちはミスを低減し、経営資源を100%有効活用します。
- (4) 私たちは機器の設計工程・部品の製作工程および営業活動を見直して、省資源化を実現し、環境にやさしい製品の提供に努めます。
- (5) 私たちは環境との共生・調和、環境への取り組みを最重要課題として認識し、全社一丸となって事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減していきます。
- (6) 私たちは環境関連法令・規則・協定およびお客様の要求事項を遵守します。
- (7) 私たちは環境経営活動レポートを公表し、地域で環境活動を実施するなど、地域との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。
- (8) この環境経営方針を文書で全従業員及び関係者に周知するとともに社外にも開示します。

制定日：2003年（平成15年）11月17日

改定日：2018年（平成30年）4月1日

株式会社 アラオ 代表取締役社長

荒尾 淳



### 3. 組織概要

- 事業所名 および 代表者名  
株式会社アラオ  
代表取締役社長 荒尾 淳

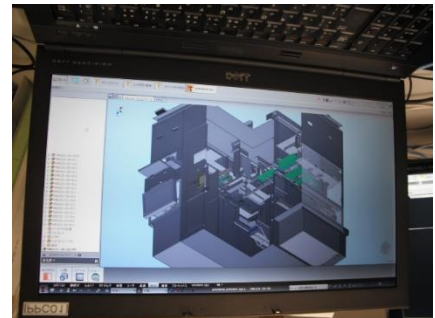


- 所在地  
〒861-4144 熊本県熊本市南区富合町积迦堂388

- 事業の概要
  - ◆ 半導体関連省力機械の設計・製作・改造・保守
  - ◆ 各種省力機器の設計製作
  - ◆ 省力機器制御ソフトウェア開発
  - ◆ 金属機械加工
  - ◆ 板金、溶接加工



- 事業の規模 (2022年度)
  - ◆ 年間売上高 6.4 億円
  - ◆ 従業員数 42 人
  - ◆ 床面積 2,068 m<sup>2</sup>
  - ◆ 敷地面積 6,604 m<sup>2</sup>

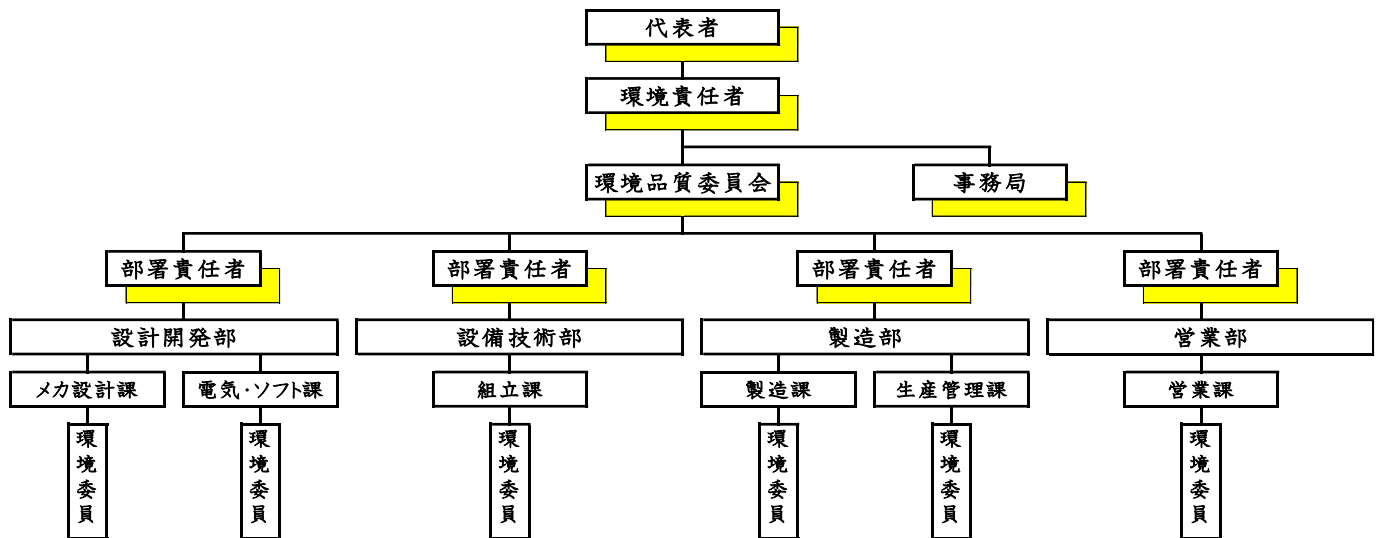


- 環境管理責任者氏名 および 担当者連絡先
  - ◆ 代表責任者 代表取締役社長 荒尾 淳
  - ◆ 環境管理責任者 設計開発部部长 永野 久徳
  - ◆ 環境担当者 製造部 工場長 三好 美樹男
  - ◆ 連絡先
    - 電話 096-358-7010
    - FAX 096-358-8045
    - URL <http://www.araotech.jp/>
    - e-mail [arao@araotech.co.jp](mailto:arao@araotech.co.jp)





## 4. 実施体制



- ◆ 代表者
  - ・環境責任者をはじめ必要な責任者の任命
  - ・EA21 の構築、運用、維持に必要な経営資源の準備
  - ・環境経営方針の制定
  - ・EA21 全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示
- ◆ 環境責任者
  - ・経営資源の合理化、効果的な運用を図り、環境品質委員会を運営する。
- ◆ 環境品質委員会
  - ・環境責任者主催で月 1 回開催
- ◆ 事務局
  - ・EA21 に関する実務全般
- ◆ 各部署責任者
  - ・各部署内の環境活動の指導および実行責任
  - ・各部署内の環境委員の任命
- ◆ 各部署環境委員
  - ・各部署内における環境目標の達成に向けた環境活動の推進
  - ・各部署輪番制で環境パトロールの実施
  - ・法令遵守（3 か月毎にコンプレッサー、エアコンの簡易点検実施）

## 5. 環境目標と実績

## &lt; 各部門 &gt;

各部門の活動記録は、14～23頁

## &lt; 全社 &gt;

項目	入力年	2022		2022年度			CO2排出係数 丸紅新電力 0.484kg-CO2/kWh	
	西暦	2020年度	2022年度	2022年度				
	平成・令和	32年	4年	4年				
管理実施項目	単位	実績値	目標値	実績値	達成率 目標/実績)	評価	基準年比較 削減率 評価	
二酸化炭素排出量	トン	101.360	128.650	112.555	114.30%	○	111.04%	×
	売上当(kg/百万円)	312.07	214.42	174.50	122.88%	○	55.92%	○
使用電力量	MWh	189.77	219.15	220.31	99.47%	△	116.09%	×
	売上当(kWh/百万円)	584.27	365.25	341.57	106.93%	○	58.46%	○
	料金(円)			¥6,907,278				
ガソリン消費量	L	4,094.84	4,081.06	2,551.24	159.96%	○	62.30%	○
	売上当(L/百万円)	12.61	6.80	3.96	171.72%	○	31.41%	○
	料金(円)			¥459,658				
一般廃棄物 (塵芥のみ)	kg	247	309	246	125.77%	○	99.67%	△
	売上当(kg/百万円)	0.76	0.52	0.38	136.84%	○	50.07%	○
	料金(円)			¥141,075				
産業廃棄物 (廃油・液・プラ)	kg	5,180	4,805	4,695	102.34%	○	90.64%	△
	売上当(kg/百万円)	15.95	8.01	7.28	110.03%	○	45.65%	○
	料金(円)			¥148,902				
紙使用量	A4枚数	50,000	61,400	52,000	118.08%	○	104.00%	×
	売上当(枚/百万円)	153.94	102.33	80.62	126.93%	○	52.37%	○
水使用量	立方メートル	556	491	412	119.16%	○	73.99%	○
	従業員当(m <sup>3</sup> /人)	13.25	11.15	9.80	113.78%	○	73.97%	○
				¥58,206				
売上高	百万円	325	600	645	107.50%	○	198.58%	○
	従業員当(百万円/人)	7.73	13.64	15.36	112.61%	○	198.62%	○
社員数	人	42	44	42	95.45%	△	100.00%	○
		基準年	2022年・環境実績総合評価					

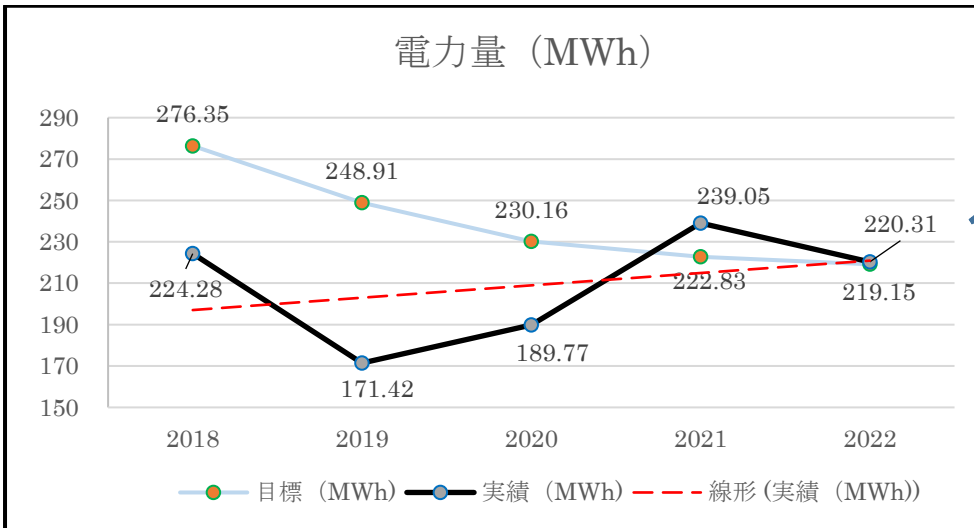
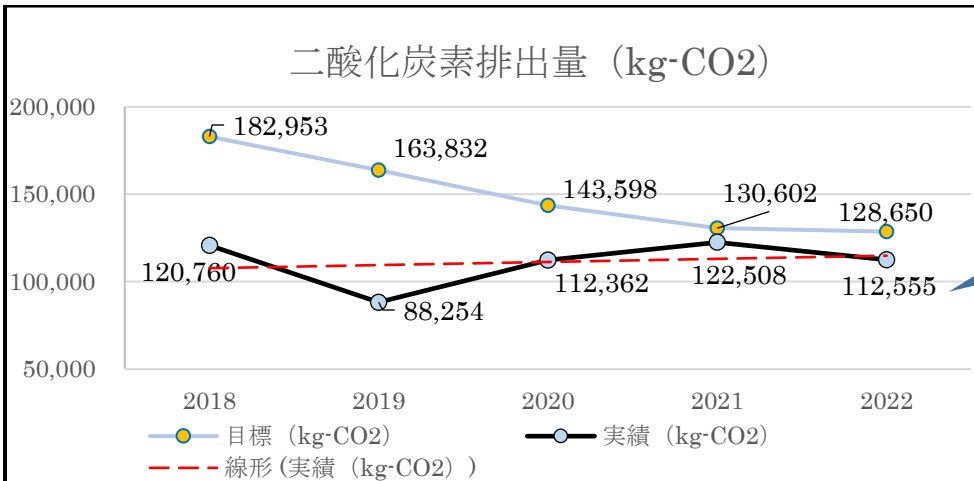
評価基準(%)

0-89	90-99	100-
○	△	×

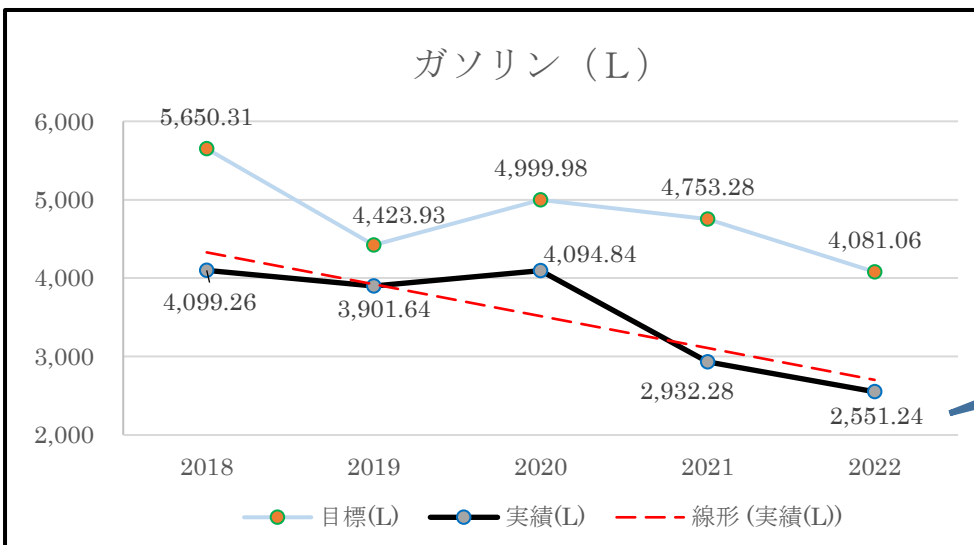
※1 100%以上="○"

### 5. 1 環境負荷の実績推移

各項目の目標と実績です。

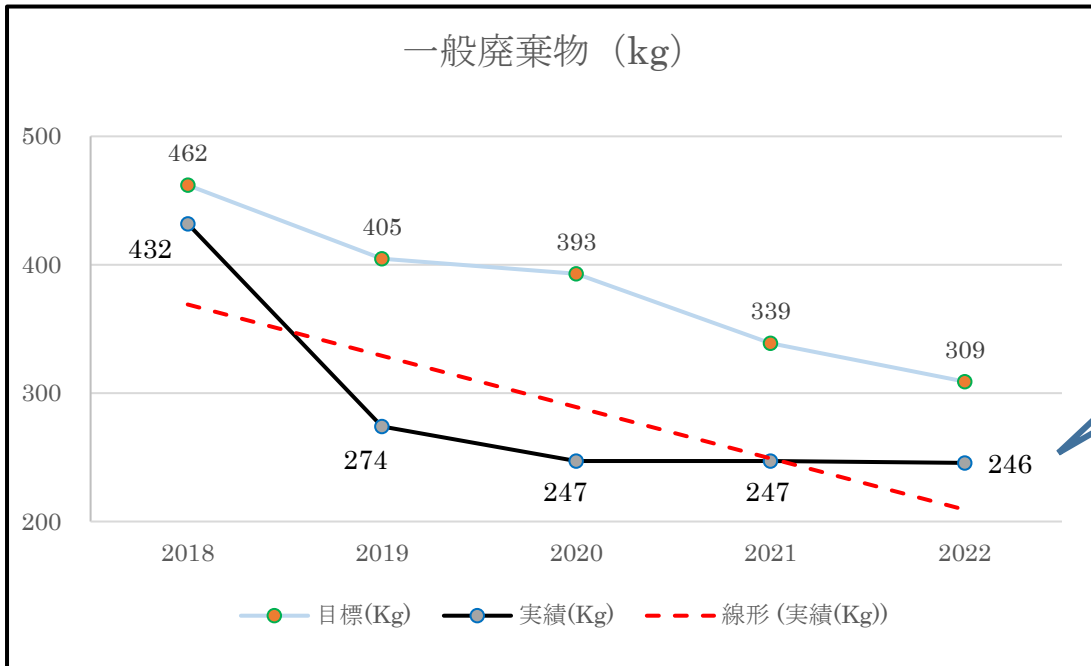


取り組み内容： 3か月に一度、エアコンやコンプレッサの簡易点検実施



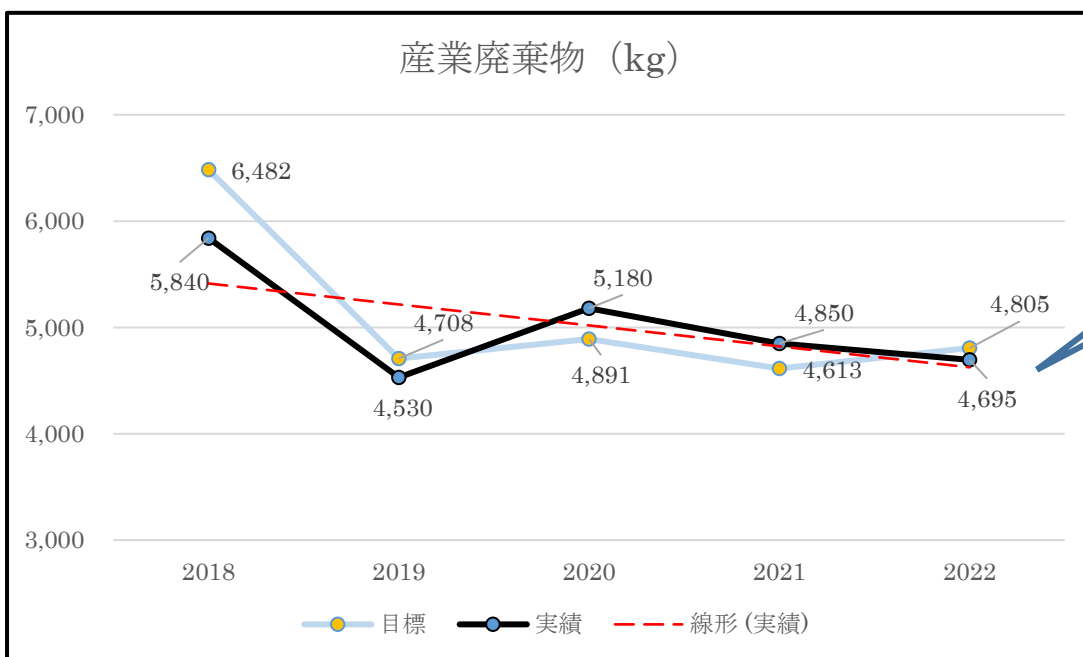
取り組み内容： アイドリングストップとハイブリッド車を使用





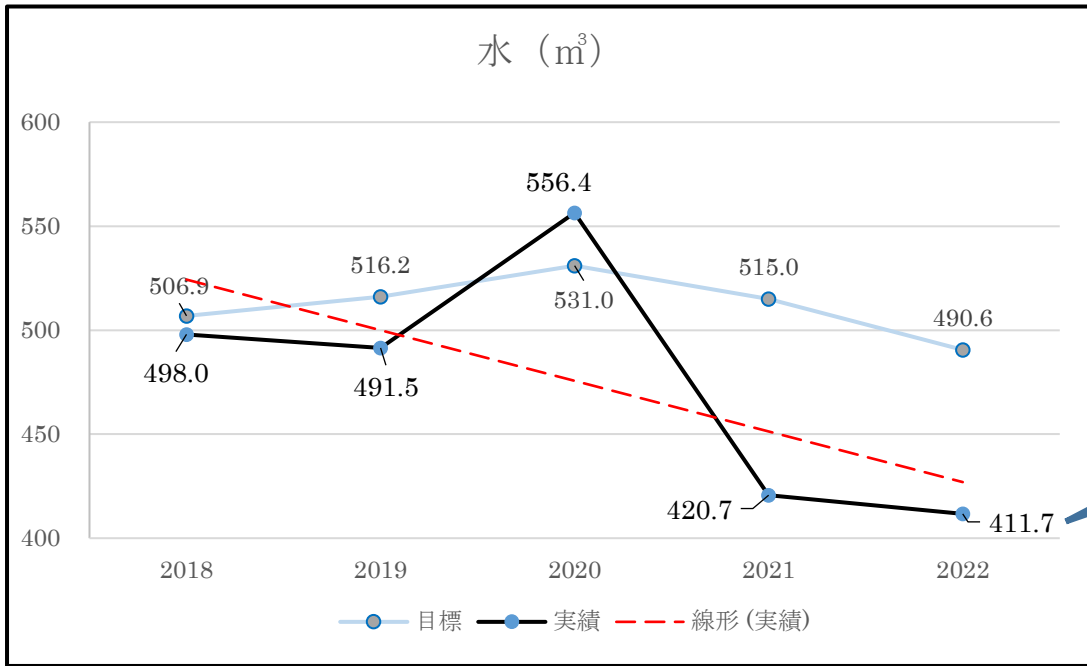
目標の 79.5%  
達成!

取り組み内容： ごみの分別徹底



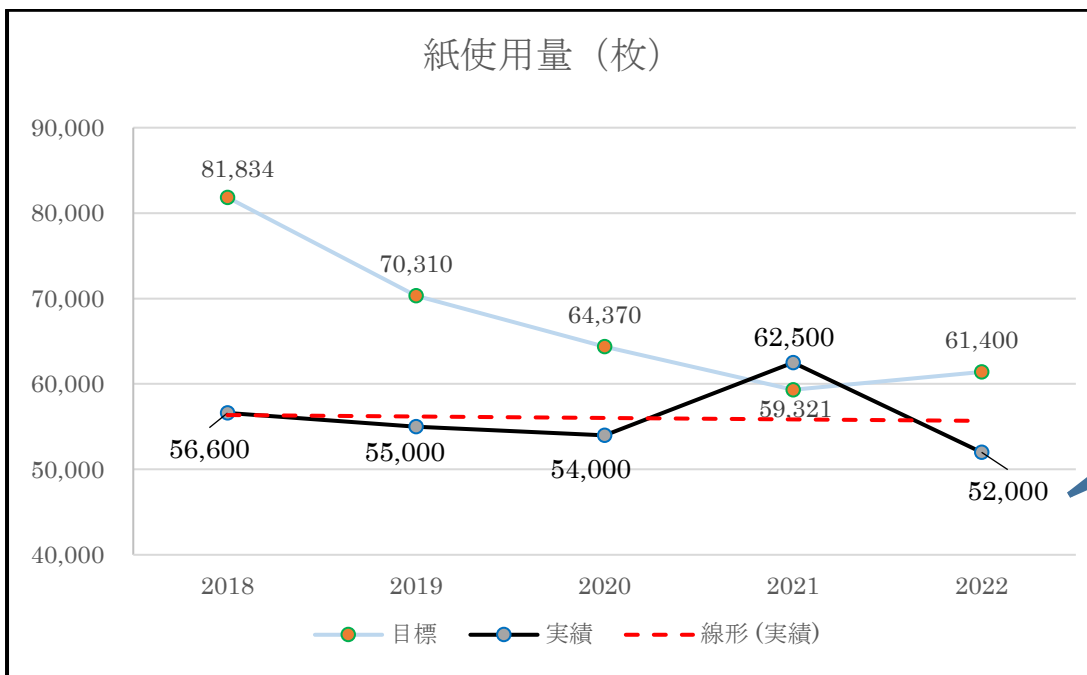
目標の 97.7%  
達成!

取り組み内容： 工程内不良削減、再資源化



目標の 83.9%  
達成!

取り組み内容： 洗浄作業を貯水して行う (2020年に漏水発生)



目標の 84.7%  
達成!

取り組み内容： ペーパーレス化推進、両面印刷/集約機能の活用

**5. 2 3年環境経営目標**

環境経営方針		実行内容	目標値		
			2021	2022	2023
製品開発	(1)私たちは顧客要求の変化への対応として、省エネ製品、IoT、ロボットなどを使用した独自製品の開発を推し進めます。	「新製品開発プロジェクト」にて新製品開発を推進し、全社一丸となって毎年1件以上の製品を市場に送り出します。	1件 以上	1件 以上	1件 以上
経常利益	(2)私たちは予算を認識し、効率的な業務遂行で適正利潤を継続確保します。	営業、設計、加工、組立それぞれの工程での業務での効率化を図り、高利潤体制を構築します。	5.0% 以上	7.5% 以上	10%以 上
不良率	(3)私たちはミスを低減し、経営資源を100%有効活用します。	各工程での不良品を削減します。	目標は各部署にて設定		
省資源化	(4)私たちは機器の設計工程・部品の製作工程および営業活動を見直して、省資源化を実現し、環境にやさしい製品の提供に努めます。	総売り上げに占める、設計・部品製作・営業活動の工数削減を行います。	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
環境負荷	(5)私たちは環境との共生・調和、環境への取り組みを最重要課題として認識し、全社一丸となって事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減していきます。	(紙)、ゴミ、電気、水などの環境負荷を減らし、CO2 排出量削減に努めます。	2022 年度目標は 6 頁に記載		
法令・規則・客先要求等	(6)私たちは環境関連法令・規則・協定およびお客様の要求事項を遵守します。	法令などはもちろん客先からの要望に100%応えられることを目指します。	100% 達成	100% 達成	100% 達成
地域貢献活動	(7)私たちは環境経営活動レポートを公表し、地域で環境活動を実施するなど、地域との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。	地域に根差した企業となるべく、さまざまな地域貢献活動を行います。	1件 以上	1件 以上	1件 以上

## 6. 環境負荷の詳細

## 6. 1 本年度環境活動計画と評価

	項目	目標達成手段	活動計画案	評価
1	環境システム見直し	EA21 の指針に沿い、見直す	見直し	○
2	二酸化炭素排出量削減	照明やOA機器の節電	毎日実施	○
			昼休み中の消灯、パソコンスリープモード	○
		冷房 26 度以上、暖房 22 度以下の室温	毎月パトロールで遵守状況を確認	◎
		冷暖房機器フィルターを清掃	年 4 回実施	◎
3	廃棄物の削減	ゴミの分別の周知徹底	燃やすごみ、紙、プラを分別	○
		資源ごみはリサイクルして活用	コピー紙、新聞紙などはリサイクル	○
4	(紙使用の削減)	電子文書の活用	社内保存用資料は電子化を推進	○
5	水使用の削減	節水の表示と周知徹底	節水表示で個人の意識向上	○
			実用に耐えられる程度に元栓を絞る	○
6	環境法令の遵守	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	○
7	近隣の環境維持	環境清掃の実施	10月に実施	○
8	環境コミュニケーション	環境レポートの配布	当社ホームページに環境活動レポートを掲載	○
9	環境事故想定訓練	油などの流出想定訓練	3月に実施	○
10	環境データの収集	毎月電力、水などの消費量測定	毎月始めに収集	○
11	設計工程の改善	メカ) 購入品誤発注率の低減	総発注金額の 3% 以下/月の目標	◎
		電気・ソフト) 不具合損失率の削減	0.4% 以下/月の目標	×
12	組立工程の改善	組立起因による部品破損の削減	2 件以下/月の目標	○
		組立起因によるクレーム件数の削減	2 件以下/月の目標	○
13	製造工程の改善	加工不良の削減	0.57% 以下目標	×
		客先クレームの削減	2 件以下/月、12 件以下/年の目標	○
14	生産管理の改善	加工外注先への相見積件数の拡大	目標 130 件/月	○
15	営業の改善	面談件数の拡大	月 600 件以上の目標	○
		単品受注率の拡大	35% 以上の目標	×

## 6. 2 次年環境活動計画

	項目	目標達成手段	活動計画案
1	環境システム見直し	EA21 の指針に沿い、見直す	見直し
2	二酸化炭素排出量削減	照明やOA機器の節電	毎日実施 昼休み中の消灯、パソコンスリープモード
		冷房 26 度以上、暖房 22 度以下の室温	毎月パトロールで遵守状況を確認
		冷暖房機器フィルターを清掃	年 4 回実施
3	廃棄物の削減	ゴミの分別の周知徹底	燃やすごみ、紙、プラなどの仕分け
		資源ごみはリサイクルして活用	コピー紙、新聞紙などはリサイクル
4	(紙使用の削減)	電子文書の活用	社内保存用資料は電子化を推進
5	水使用の削減	節水の表示と周知徹底	節水表示で個人の意識向上
			実用に耐えられる程度に元栓を絞る
6	環境法令の遵守	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	マニフェスト発行、法令遵守の見直し
7	近隣の環境維持	環境清掃の実施	10月に実施
8	環境コミュニケーション	環境レポートの配布	当社ホームページに環境活動レポートを掲載
9	環境事故想定訓練	油などの流出想定訓練	3月に実施
10	環境データの収集	毎月電力、水などの消費量測定	毎月始めに収集
11	設計工程の改善	メカ) 購入品誤発注率の低減	総発注金額の 2.5% 以下/月の目標
		電気・ソフト) 不具合損失率の削減	0.4% 以下/月の目標
12	組立工程の改善	組立起因による部品破損の削減	2 件以下/月の目標
		組立起因によるクレーム件数の削減	2 件以下/月の目標
13	製造工程の改善	加工不良の削減	0.57% 以下目標
		客先クレームの削減	2 件以下/月、12 件/年の目標
14	生産管理の改善	加工外注先への相見積件数の拡大	目標 130 件/月
15	営業の改善	面談件数の拡大	月 660 件以上の目標
		単品受注率の拡大	32% 以上の目標

## 7. 環境活動記録

### 7. 1 清掃活動



### 7. 2 廃油流出事故訓練 (2023年3月 新ユニフォームにて)



① 廃油流出状態の設定

② 吸着マットを敷く

③ 流出防止板を挿入する



④ 土嚢投入

⑤ 油升内の廃油汲み取り

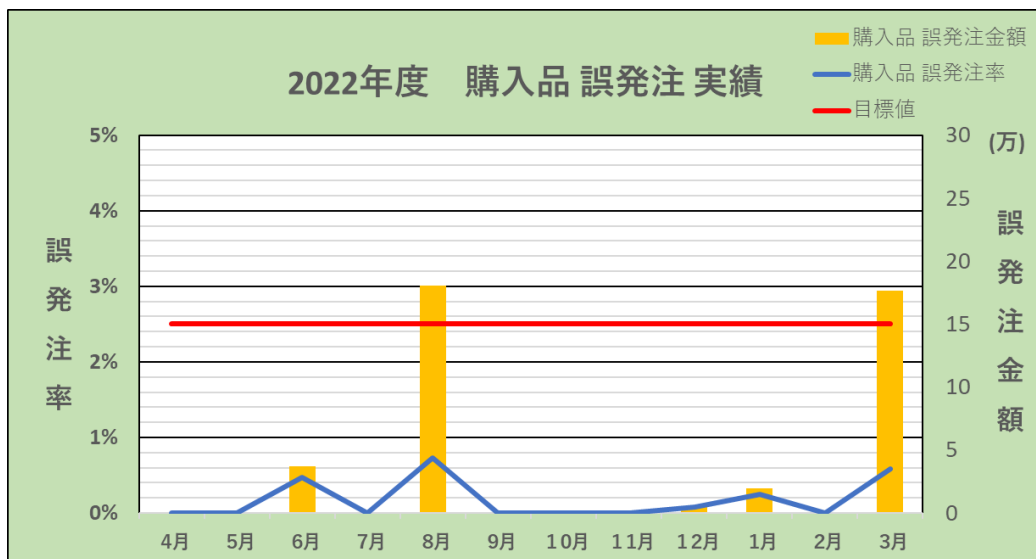


### 7. 3 設計開発部 メカ設計課活動記録

メカ設計課では、受注案件ごとの購入品誤発注を低減することを目的とし活動を行っています。購入品の選定ミス・過発注の低減を重点項目とし取り組み、その実績を報告します。

1. 活動テーマ：購入品誤発注の低減
2. 活動目標：購入品誤発注率（金額ベースで算出）2.5%以下/月
3. 活動内容
  - (1) 月毎の完了案件における購入品全体の発注金額の調査
  - (2) 誤発注品の種類、個数、金額の調査
  - (3) 月毎の購入品誤発注率を算出しグラフ化
  - (4) 再発防止策を課内で話し合い情報共有化
  - (5) 設計知識向上に向けて講習会の実施
4. 年間活動結果

2022 年度 購入品誤発注率 0.44% (¥418,976/¥95,291,986)



2022 年度の購入品誤発注率は 0.44% と目標 2.5% 以下を達成しました。昨年度と比較して購入品誤発注率は上昇したものの、新規設計案件が多い中では、低く抑えられました。しかし、誤発注品の中には高額な部品もあったので、情報を共有し課内で話し合っって再発防止へ向けた取り組みを行いました。

2023 年度も大型の新規設計案件が控えています。一人一人がスキルアップし、課内でよく話し合っってコミュニケーションを取りながら、購入品誤発注率 2% 以下へ向けた取り組みを行っていききたいと思います。

## 7. 4 設計開発部 電気・ソフト課活動記録

電気・ソフト課では装置案件に対して、部材発注を行う際に生じる電気部材発注ミスや作業時のミスにより発生する無駄な工数を削減しミスによる損失金額の減少を目標に活動を行っています。

- 1) 活動テーマ       【電気購入品、作業ミス削減】
- 2) 活動目標         【不具合金額率 0.40%以下】
- 3) 活動内容

- ① 新規案件の装置仕様書作成
- ② 装置案件ごとの不具合シート作成 要因解析
- ③ 出荷前の装置検査表作成

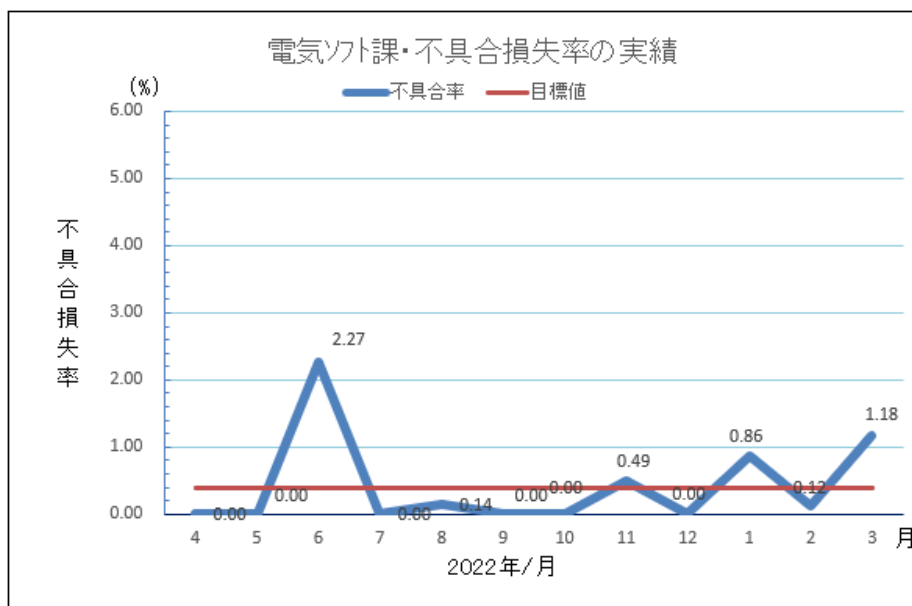
### 4) 年間活動結果

昨年に引き続き 月毎の研修案件について不具合損失率を集計しました。

【不具合金額率 = (作業不具合工数×時間単価 + 購入品不具合金額) / 装置見積金額】

$$0.78\% = \text{¥}320,078 / \text{¥}41,125,100$$

1年間の電気不具合金額率 0.78%



今年度は、新規大型案件もあり不具合の発生率が 0.78%と高い値となってしまいました。今後、同じ装置案件も継続して納める可能性があるため、不具合内容の周知徹底及び資料の更新を行って再発防止に努めていきます。

## 7. 5 設備技術部 組立課活動記録

第1活動テーマ：組立起因による部品破損、紛失の削減

1) 活動目標：2件以下/月

2) 活動目的

組立起因による部品の破損、紛失を低減する事により、不要な再製作や購入による損害を削減する。また、発生事例を報告書として残すことにより教育資料としての活用、再発防止を目的とする。

3) 具体的な対策と内容

①発生件数、内容の把握（環境委員）

組立起因で発生した部品の破損、紛失を把握する

②発生件数、発生金額の把握（環境委員）

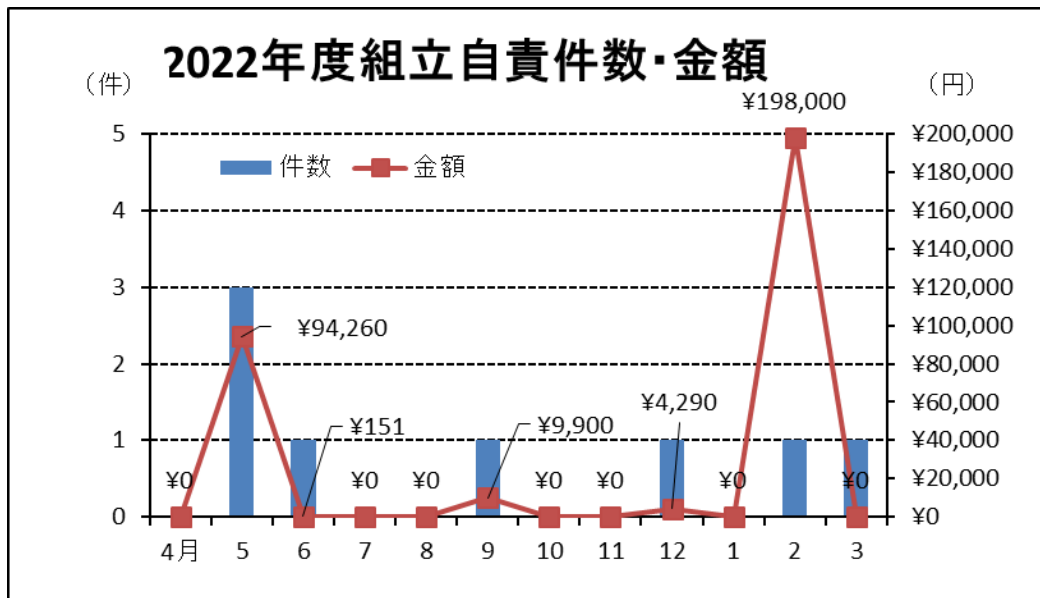
発生した事例の修復に掛かった金額を把握する

③発生事例のまとめ（組立課員）

発生した事例を項目毎にまとめる事により、風化を防ぐ

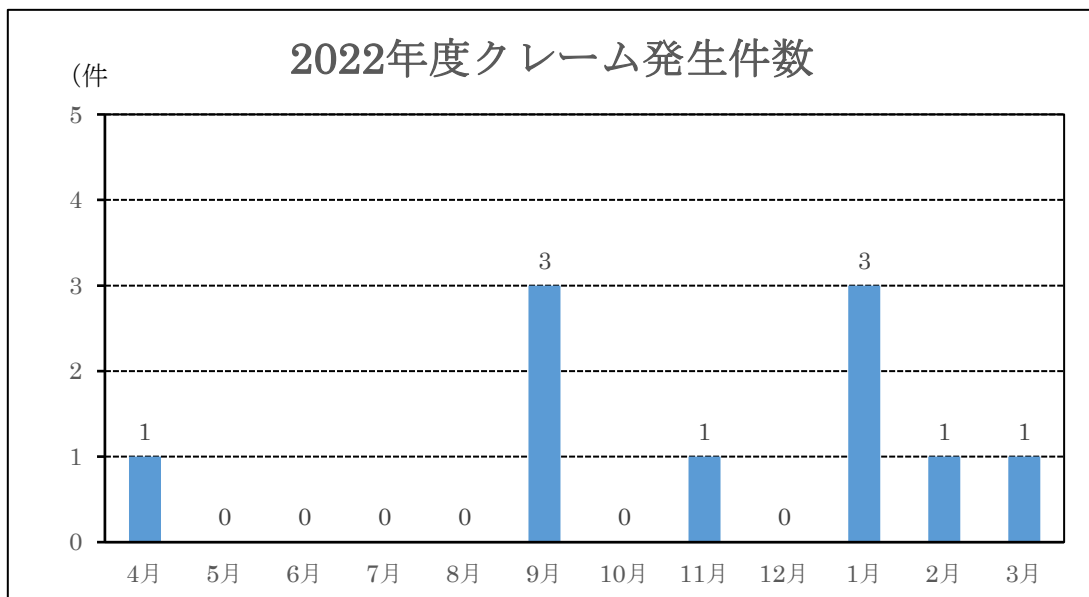
4) 結果

目標2件/月以下に対して平均0.6件/月と目標を達成しました。



## 第2活動テーマ：クレーム件数の削減

- 1) 活動目標： 2件以下/月
- 2) 活動目的： 保証期限内のクレームを共有し再発防止を図る  
(保証期限とは新規納品後は1年、工事後は半年)
- 3) 具体的な対策と内容
  - ①発生件数、内容の把握（環境委員）  
客先からの組立起因で発生したクレームを把握する
  - ②発生件数、発生金額の把握（環境委員）  
発生した事例の修復に掛かった内容を把握する
  - ③発生事例のまとめ（組立課員）  
発生した事例を項目毎にまとめる事により、風化を防ぐ
- 4) 結果  
目標2件/月以下に対して平均0.8件/月と目標を達成しました。



## 7. 6 製造部 製造課活動記録

活動テーマ：加工不良の低減、客先クレームの低減

活動目標：加工不良「0.57%/月」以下、客先クレーム「12件/年」以下

活動目的：加工不良による不要な再製作を無くし、損失削減を図る

### 1) 具体的な対策と内容

#### ①発生件数の調査

毎月「加工不具合発生記録」を提出し集計する

#### ②集計結果の分析

加工不良内容、損失金額をまとめる

昨年度の不良は多岐に渡るが、その中でもバリが特に多く、重点項目として取り組んだ。

#### ③集計結果、不適合品の回覧

客先クレーム発生時「不適合品報告書」を作成し、

2) の集計結果と合わせて回覧し再発防止を図る

### 2) 結果

加工不良「0.57%/月」以下に対し、1.16%で未達

客先クレーム「12件/年」以下に対し、4件で達成

加工不良は、バリ・キズ不良、寸法不良の2項目が多かった。

今年度は特に寸法不良が目立つ結果となった。

また、数物での不良により、不良発生率を増加させている月もあった。

### 3) 次年度への課題とその対策

活動テーマ：加工不良の低減、客先クレームの低減

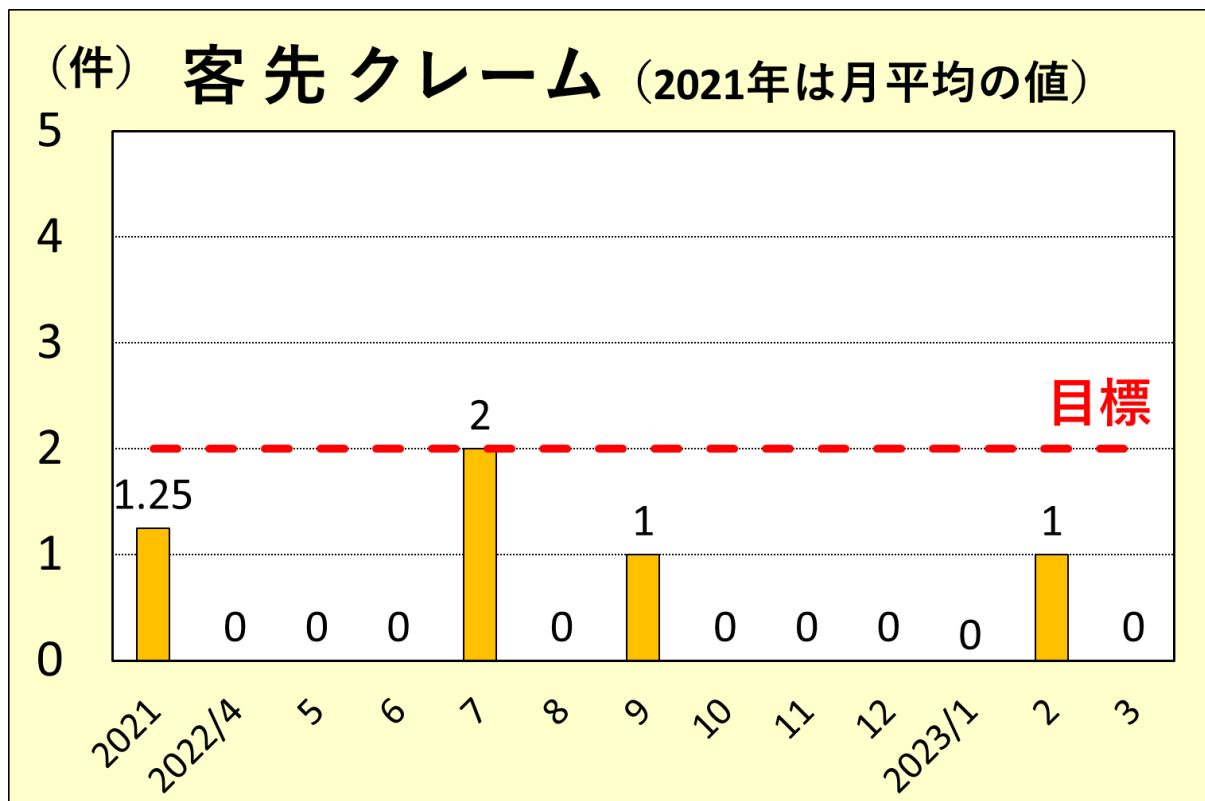
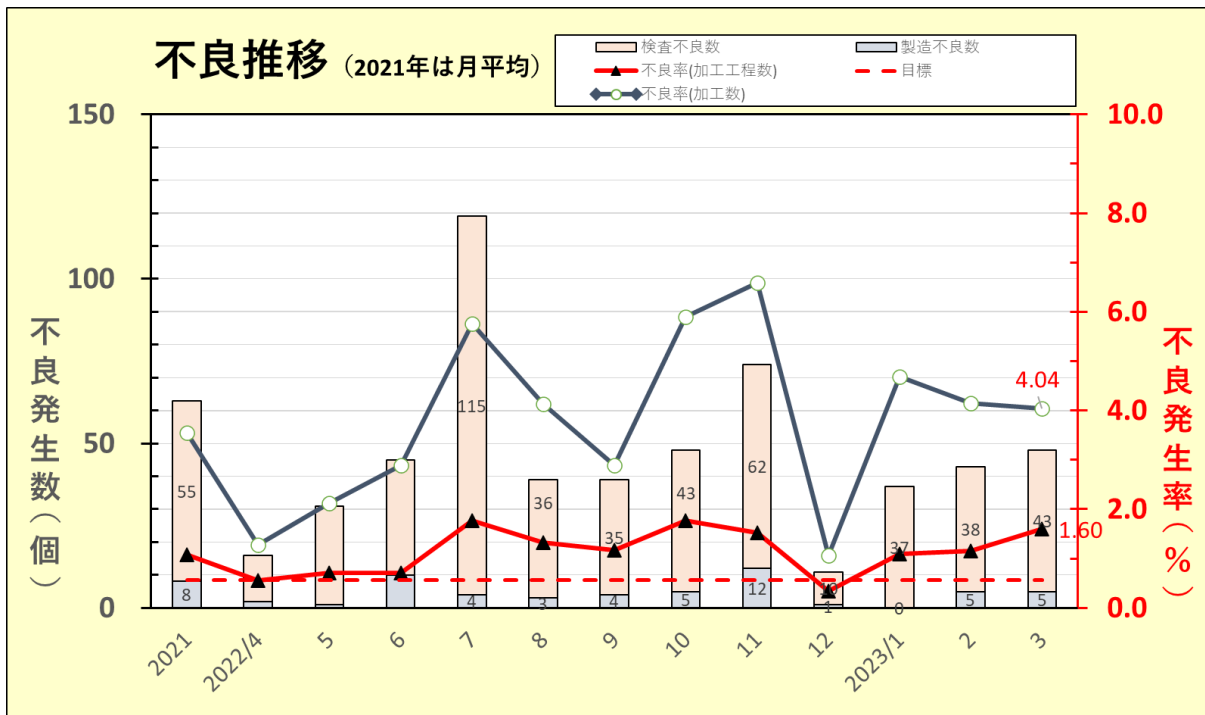
活動目標：加工不良「0.57%/月」以下、客先クレーム「12件/年」以下（据え置き）

活動内容

① 加工不良発生件数の調査

② 加工不良内容、損失金額の集計

③ ②③の情報を共有し、再発防止を図る

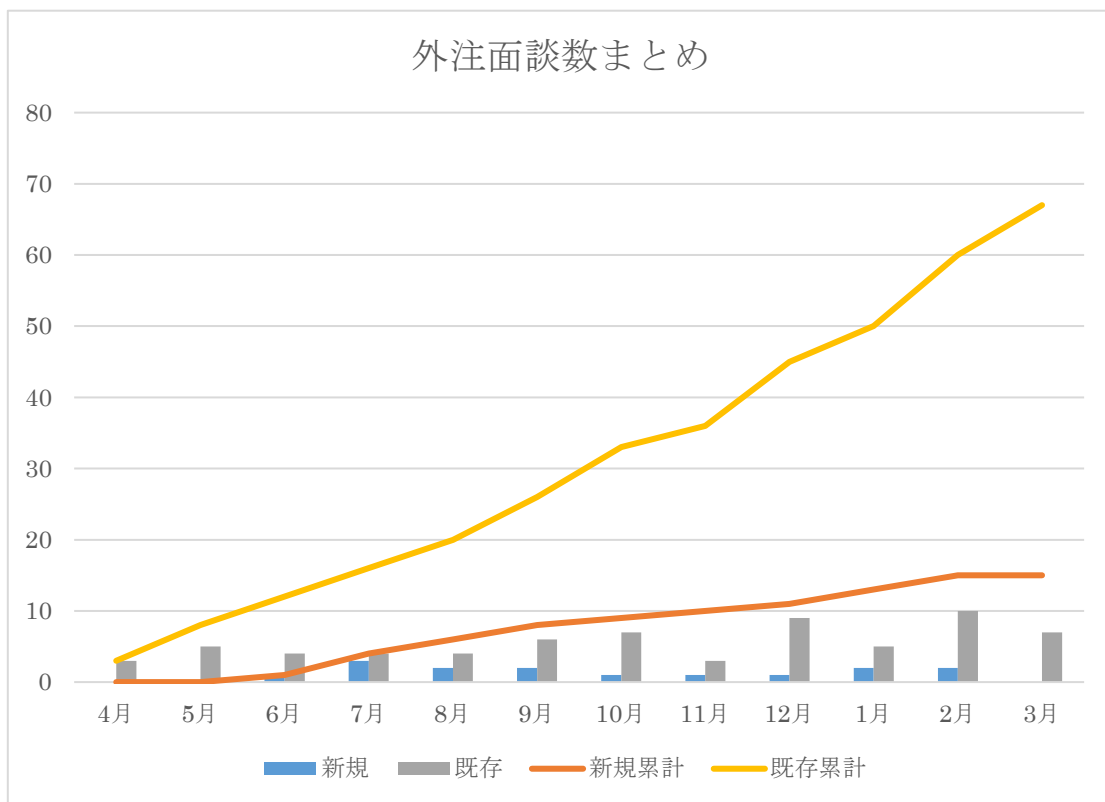




## 7. 7 製造部 生産管理課活動記録

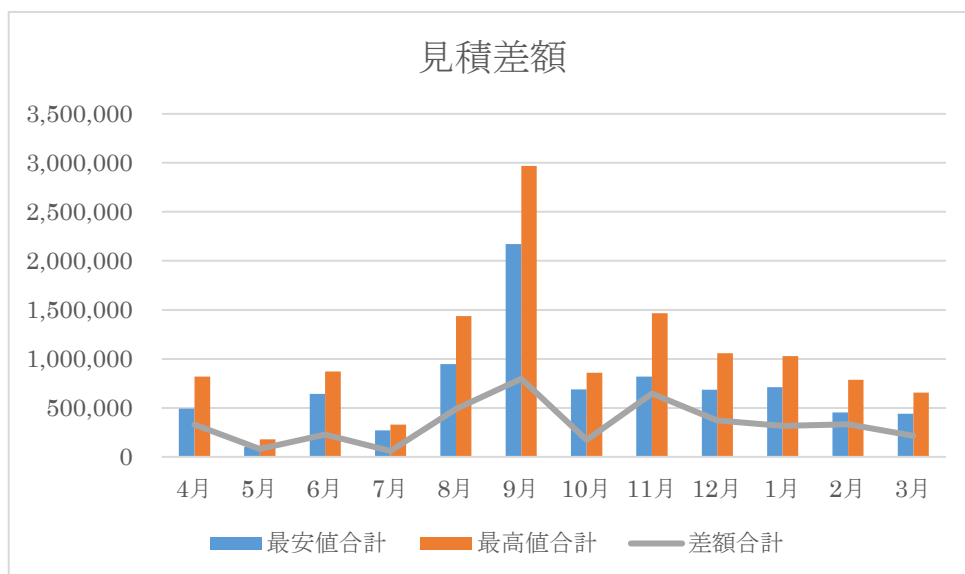
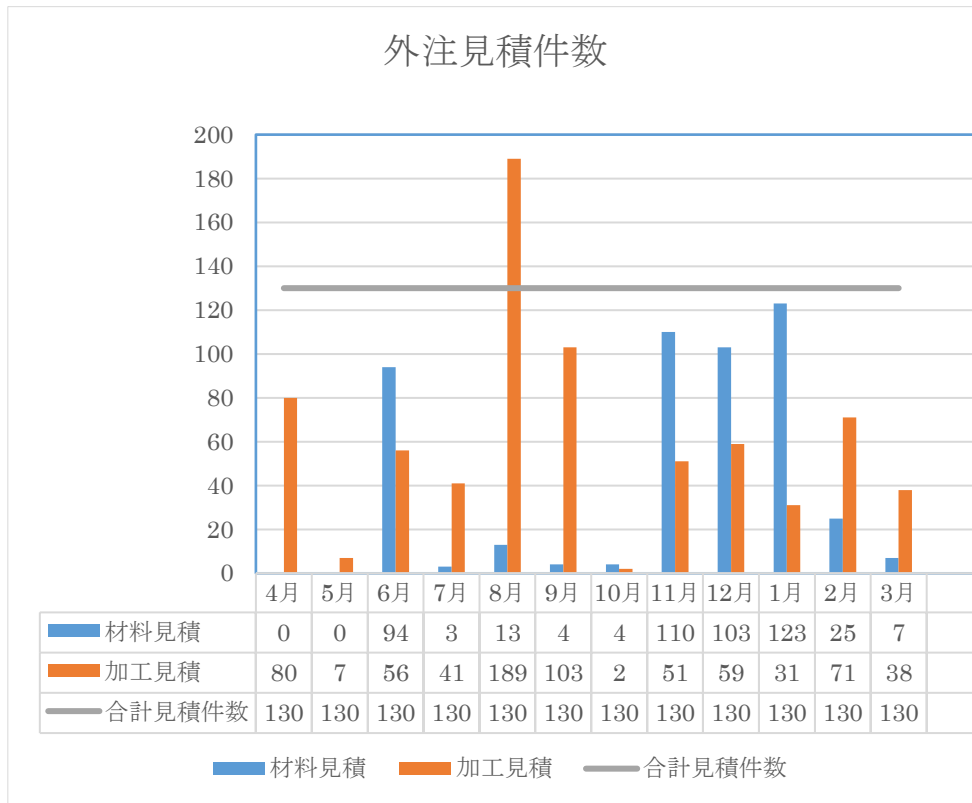
## 1 受注拡大

- 1) 活動テーマ：加工外注先の拡大
- 2) 活動目標：加工外注先面談(毎月新規 1 社・既存外注先 5
- 3) 活動内容：加工外注先を増やし受注量を増やす
- 4) 活動結果：新規 15/12 社(130%) 既存 67/70 社(96%)



## 2 相見積件数の拡大

- 1) 活動テーマ：加工外注先への相見積件数の拡大
- 2) 活動目標：相見積を取り価格メリットある外注先に依頼をする。
- 3) 活動内容：毎月の見積件数 130 件
- 4) 活動結果：1214/1560 件(78%)

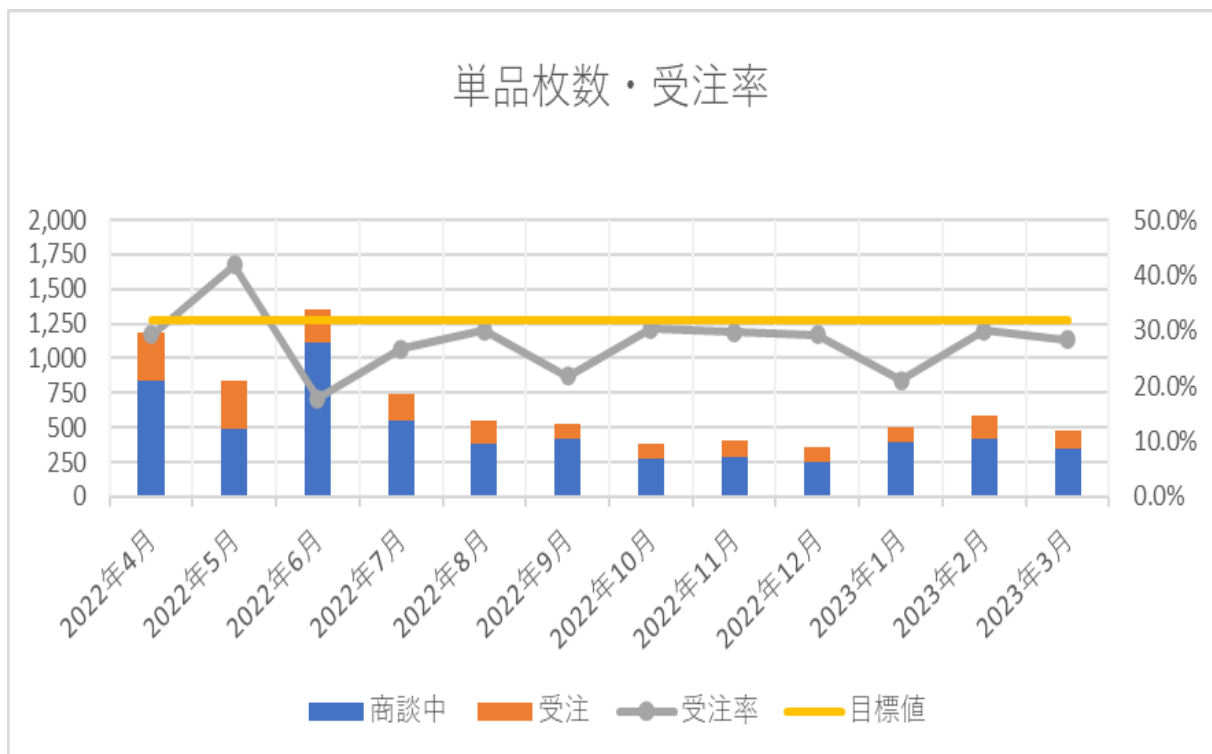


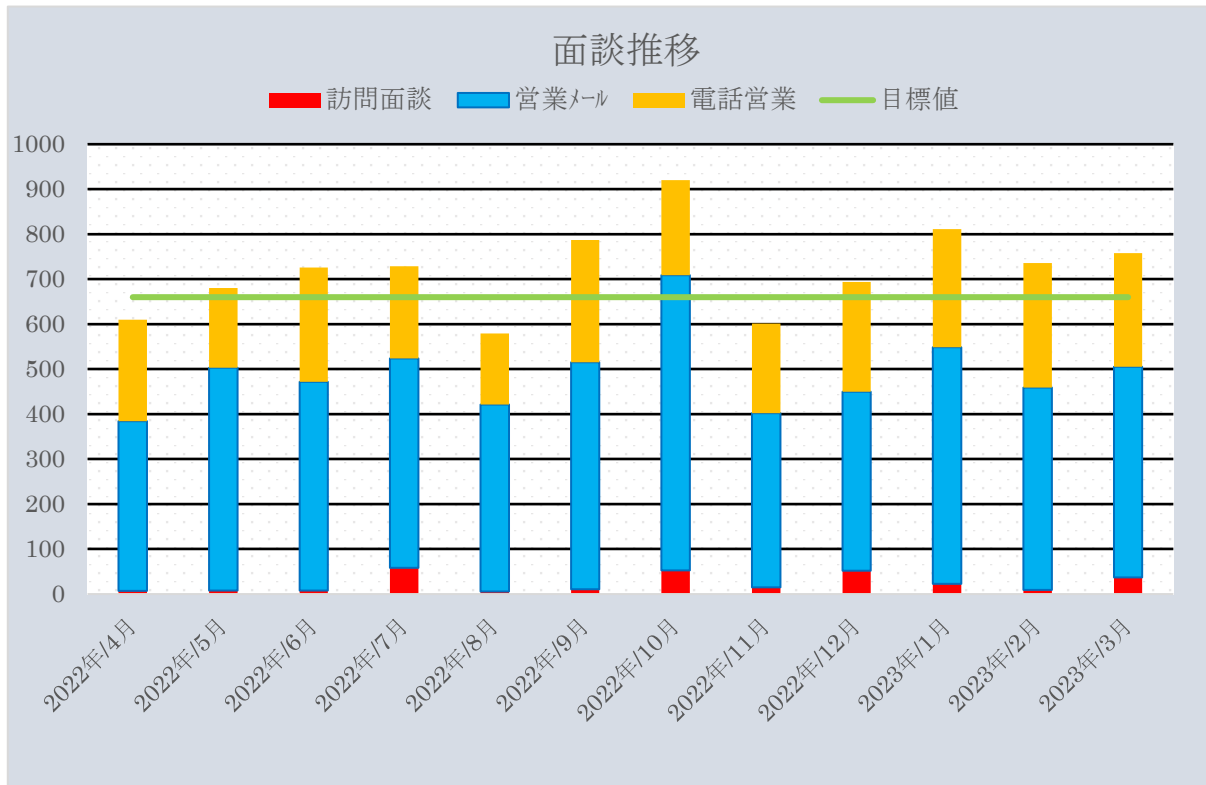
## 7. 8 営業部 営業課活動記録

長期目標 単品の受注率の向上、売上安定化の推進  
 目標基準 ひと月面談件数 660 件以上  
 ひと月受注率 32%以上

実績 年間面談件数平均 719 件 (達成率 109%)  
 年間受注率 27.5% (目標 未達)

具体的な対策 コロナの影響による直接面談の減少に伴い  
 電話・メール・オンラインの活用の継続実施





今後の長期目標

年間売り上げの柱となる分野(業種)を増やす  
 単品受注獲得に向けた営業活動の推進  
 有望先の案件数を増加のための営業活動の実施

具体的な活動内容

設計スキルを持つ営業課員との同行営業の推進と受注の向上  
 見積依頼の情報共有を図り、見積回答までの時間短縮  
 今年度、コロナ感染が5類に移行に伴い、直接面談の再開  
 オンラインも活用したうえで、効率化を図る。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果

関連法規の遵守状況をチェックした結果、問題はありません。

なお、関係機関や近隣住民の方からの法律違反の訴え、苦情や訴訟等は発生していません。

産業廃棄物については、廃棄時にマニフェストを完全に発行しています。

### 環境関連法令等の遵守チェックリスト

法令等の名称		該当条項	適用される要求事項	アラオの遵守状況	
大気	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第6条 第19条	特定製品（業務用エアコン、コンプレッサ）の整備・廃棄時のフロン回収・破壊	社内エアコン、コンプレッサの簡易点検実施中	○
排水	水質汚濁防止法 排水基準を定める省令	第2条	特定施設	該当施設なし (上水は生活用水のみ使用)	—
排水	下水道法	第10条	下水道への放流	該当施設なし (上水は生活用水のみ使用)	—
		第12条	除外施設の設置		
悪臭	悪臭防止法	第7条	規制基準の遵守義務	該当施設なし	—
		第10条	事故時の措置と報告		
		第11条	自治体による測定		
騒音	騒音規制法	第5条	特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守	騒音は規定値内	○
		第6条	特定施設（施工令別表1）の届出	コンプレッサー 3台 エアコン室外機 21台	○
		第8条	特定施設の変更届(騒音の大きさの増加を伴わない場合はこの限りではない)	(届出済)	○
振動	振動規制法	第5条	特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守		○
		第6条	特定施設（施工令別表1）の届出		○
廃棄物・リサイクル	循環型社会形成推進基本法	第11条	事業者の債務（廃棄物になることの抑制）		○
廃棄物・リサイクル	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	第7条	一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要	許可証の写しを入手	○
		第14条	産業廃棄物処理業者は都道府県知事の許可が必要	許可証の写しを入手	○
		第15条	保管基準の遵守（表示、衛生管理等）	廃棄物置場に表示設置	○
		施行令8条	表示：60cm角以上、種類、氏名、連絡先 許可業者に委託（一般廃棄物は許可証の確認） 許可業者に委託（産業廃棄物は契約）	紙屑、その他 廃油、廃プラ	○ ○

			多量排出事業者の削減計画提出・報告		○
			マニフェスト発行・返送遅延時の届出	廃油、廃プラ	○
			マニフェスト交付状況の報告	熊本市へ報告	○
			もっぱら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託	紙、鉄くず	○
	資源の有効な利用の促進に関する法律 リサイクル法	第4条	パソコンのリサイクル化	パソコン	○
	特定家庭用機器再商品化法	第6条	TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	TV、冷蔵庫、エアコンの適正廃棄を実施する	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律	第5条	自動車の所有者の責務 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	社用車はリース車のため非該当	○	
水俣条約	第11条	水銀廃棄物の適正処分	廃蛍光灯は工業団地事務局へ搬出	○	
化学物質 ・ 危険物	特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	第2条	特定化学物質 （質量1トン以上、従業員21名以上）	PRTRの対象物質 フッ化水素酸 （ステンレスクリーナー）	○
	毒物及び劇物取締法	第2条	毒物または劇物の取扱	フッ化水素酸 （ステンレスクリーナー）	○
	RoHS2指令（EUの法律）		特定有害物質の使用制限（10物質）	不使用証明書発行	○
危険物	高圧ガス保安法	第9条の2	圧縮アセチレンガス 高圧ガスの消費	溶接用の高圧ガス使用量が僅少	○



## 9. 代表者による全体評価と来年への展望

### 9.1 取り組みへの評価

2022年度は環境目標について、電力使用量（目標値の100.5%）、ガソリン使用量（同 62.5%）産業廃棄物量（同 97.7%）一般廃棄物量（同 79.5%）紙使用量（同 84.7%）水使用量（同 83.9%）と、電力使用量が目標オーバーしたものの他項目において目標値を下回りました。前年2021年度との比較ではすべての項目で下回りました。2022年度も2021年度同様半導体業界は生産拡大となり、活発な設備投資がなされた影響で売上高は2021年度の110%となったにも関わらず環境目標の多くの項目で目標クリアしたことは、全部署全社員の環境保全と経済活動の両立に対する意識と取組が高いレベルに維持されているとみなすことができ、大いに評価するとともに社員各位の協力を感謝いたします。

2022年度の各部署の環境品質改善への取り組みは、月1回の環境品質会議を確実に実施し、各部署の目標達成実績の確認と周知、意見交換が行われ、環境委員の環境意識をさらに高める活動になっています。各部署の業務改善、品質改善実績はおおむね目標を達成しておりますが、一部未達の項目がありました。それについては問題点を見極め改善への取組を活発化し、全部署全項目で目標達成を目指してゆきましょう。環境関連法令については100%順守できました。全社員の環境改善活動・法令順守への取り組みについて評価し、2023年度の環境活動も順調に推移することを期待しております。

### 9.2 2023年度への展望

2023年度は半導体関連設備の製作もひと段落し、落ち着いた動静となっています。ただ新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、経済活動もコロナ前の状況に向かうことが予測でき、半導体の需要も今後さらに拡大に向かうであろうことが期待できます。実際2024年度に向けての設備投資の引き合いも出てきているので、2023年度は次へのステップへの踊り場の状態にあると考えると、次の設備投資に向けての事前準備をする必要性があります。仕事量が増えても環境への負担を増やさない様、上手で効率的な仕事の仕方を考え、試行錯誤し、将来の活発な仕事の受注と生産増加に向けて熟考する期間と位置づけましょう。

2023年度の経営方針に生産性向上を、行動指針にSDGsを盛り込み、生産性を高め適正利潤を追求し、かつ環境にやさしい会社経営を目指します。環境を維持・改善しつつ、品質や納期、コストへの対応を全社で実施するための指標としてEA21活動を活用してゆきます。日常的に環境活動を行い、定期的に環境品質会議を開催し、各部署の問題点を見出し、改善しましょう。そのうえでアラオの持てる設計開発力とものづくり技術を遺憾なく発揮することを期待しております。

## EA21 2022年度（令和4年度）環境活動レポート

## 株式会社アラオ



住所 : 〒861-4144  
熊本県熊本市南区富合町釈迦堂388



電話 : 096-358-7010



FAX : 096-358-8045

発行者 : 環境品質委員会

ご意見、ご感想は弊社のホームページよりお送りください。

<http://www.araotech.jp/>

